

課題

【小・国語】文の中における主語と述語の関係を理解することが苦手

手立て

日頃の授業や日常生活の中で、主語と述語の関係、修飾と被修飾の関係等を意識付ける。

具体例

「主語・述語」は2年生の学習内容。低学年から意識させていきたい。

POINT① 教材文の主語、述語を随時確かめながら読む。

◎主語をとらえるには、述語にあたる言葉と、「～は」「～が」「～も」がついている言葉に着目し、それらの意味がつながるかを確認することが大切である。日頃の国語科の授業の中で、教材文を読む際に、主語がどこにあるか、主語と述語との関係について意識させるとよい。
○文の中に主語がない場合、主語と述語が倒置されている場合もあることもおさえる。
例・夏休みに妹は海に行きました。山にも行きました。(主語がない)
・聞こえてきたよ、子犬の声。(主語と述語の倒置)

POINT② 主語、述語、修飾語が書かれたカードを使い、文作りをする。

◎主語、述語、修飾語を書いたカードを組み合わせ、意味の通る文を作る。
児童が自らカードを作ったり、文と文を組み合わせて二つの文を作ったりすると、さらに理解が深まる。

友達が	走る	食べる	雨のしずくが	はやく	犬が	かがやく	先生が	まぶしく
-----	----	-----	--------	-----	----	------	-----	------

POINT③ 「ちばっ子チャレンジ100」を活用する。



◎千葉県教育委員会が作成した「ちばっ子チャレンジ100」の中・高学年に「主語と述語に関する問題」がある。県教委のHPからダウンロードして、授業のワークシートや復習プリントとして活用することができる。

主語、じゅつご、しゅうしよく語をばっく

年 組 番号 前

主語、じゅつご、しゅうしよく語についての問題です。

(1) 次の文の主語、述語、しゅうしよく語をそれぞれに書かせる。

①わたしのランドセルは、赤い。

主語	述語	しゅうしよく語

②兄は、六時に、学校から、帰ります。

主語	述語	しゅうしよく語

③西の空が、とつぜん、暗くなった。

主語	述語	しゅうしよく語

主語と述語

年 組 番号

主語と述語

主語と述語

主語と述語

主語と述語